

〔様式 1〕

事務事業評価表

記入年月日	平成16年4月20日			
平成16年度	事業コード	11520	電話	042-769-8235
担当部課名	市民部	国民健康保険	課	企画給付
事務事業名	診療報酬明細書点検嘱託員経費			
予算上の事務事業名	診療報酬明細書点検嘱託員経費			

1 総合計画における位置づけ

政策名	第1章	安心して生活できる福祉社会をつくります	事業開始年度
基本施策名	第5節	社会保険制度の充実に向けて	9年度
施策名	第2施策	国民健康保険制度の充実に向けて	

2 実施根拠及び関連法令等

国民健康保険法第45条 相模原市診療報酬明細書点検嘱託員設置要綱

3 事務の区分

自治事務

4 経費の区分

その他の経費

5 事務事業の分類

市単独事業

6 受益者負担

なし

7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)	
医療費適正化事業の一環として、国民健康保険の保険給付について、請求を受けた診療報酬明細書の点検及び調査を的確に実施することにより、診療報酬支払いの正確性を図る目的で、診療報酬明細書点検嘱託員を設置する。	国民健康保険加入者の診療報酬明細書	
	対象数	単位
	2,059千件	件
(3)平成15年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容		
<ul style="list-style-type: none"> 診療報酬明細書点検嘱託員 9名(予算上常時6名) 点検結果による過誤調整額 145,600千円(見込み) 内容点検財政効果額 828円/加入者数(見込み) 		
(4)個別計画の概要	概要	
計画名		
計画年次	年度～年度	

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

16,17年度は目標値

成果指標	指標名	指標式・指標の単位	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
	レセプト点検員1人当たりの過誤調整額	過誤調整額/レセプト点検員人数	レセプト点検員1人当たりの過誤調整額を評価する。	13	14	15	16	17
				28,417千円	23,057千円	24,260千円	25,521千円	26,848千円
活動指標	再審査申請率	再審査申請件数/レセプト件数×100	再審査を申請する件数で点検事務の業務量を評価する。	1.76	1.35	1.28	1.28	1.28

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

事業費	決算(予算)額	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
		決算	決算	決算(見込み)	予算	予算(見込み)
		13,209	13,561	13,697	13,815	14,505
	人員・時間数	職員0.1人	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人
	人件費	839	839	801	801	801
	その他経費					
	合計	14,048	14,400	14,498	14,616	15,306
	特定財源					
	対象数(件)	1,771,000	1,890,000	2,059,000	2,244,000	2,446,000
	単位あたり経費(円)	7.9	7.6	7.0	6.5	6.3

10 個別評価(担当課による一次評価)

(1)達成度 評価 A ▼	A:達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B:一部達成していない		・活動指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C:達成していない		・事業目標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	内容点検の結果、財政効果額は県下平均を上回っており、財政効果率及び再審査申請率とも高い数値である。
(2)必要性 評価 A ▼	A:適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B:一部適応していない		<input checked="" type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C:適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 医療費適正化事業として、医療費が増大するなかでレセプトを点検することで医療費の削減を図り、国保財政の安定化の一助とする。
(3)有効性 評価 A ▼	A:有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B:一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C:有効ではない		
		説明	医療費適正により、国保財政が安定化することにより、社会保険制度の充実が図られる。
(4)効率性 評価 A ▼	A:優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B:一部改善の余地がある		<input checked="" type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C:改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている <input type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない
		説明	点検の経費である嘱託員の報酬よりも、点検による調整額がはるかに超えているため費用対効果は高い。
(5)公平性 評価 A ▼	A:公平である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B:一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C:公平でない		<input type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	点検により医療費の適正化を行うことは公平性がある。
(6)成果の向上及び費用対効果を高めるための方策		(7)今後の課題となっていること	
診療報酬明細書点検嘱託員の資質向上のための研修の充実を図る。		年々レセプトが増加するなかで、常時6名の点検員では全てを点検することが難しくなってきているので増員が必要である。	

11 総合評価(担当課による一次評価)

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較
今後の進め方		他自治体でも同様の点検事務を行っており、本市の平成14年度の財政効果率は、県下19市中6位である。
<input type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明 平成9年度から要綱を制定し、本格的に点検業務を実施している。 嘱託員についても、平成11年度には、常時3名から6名に増員し、体制の強化を図っている。 財政効果率においても年々向上し、費用対効果は相当に高い。
<input checked="" type="checkbox"/>	見直し	
<input type="checkbox"/>	完了・廃止	
<input type="checkbox"/>	完了(廃止)済	

12 二次評価コメント(行政評価会議による二次評価)

<今後の進め方:見直し>
